

倉敷芸術科学大学で学ぶこと

—教育の目標と方針—

(32 生対象)

「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」は、倉敷芸術科学大学の建学の理念を実現するために、各学部、学科で定められた教育の目標と方針をまとめたものです。新入生のみなさんは、これらの目標と方針に沿って、倉敷芸術科学大学の学生として必要とされる知力、人間力等の能力を身につけ、最終的な目標である卒業に向けて4年間学習を進めていきます。「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を読むことで、みなさんがどのような人材になることができるかがわかります。

みなさんの学習を充実させるために、次のように活用してください。

- 1) 入学時に自分の所属している学部・学科の目標と方針を読んで、各自の体系的な学習設計をしましょう。
- 2) 「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を定期的に取り返し、卒業に向けての学習がどれくらい進んでいるかを各自でチェックしましょう。必要に応じて各自の学習設計を見直しましょう。

「カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表」の見方

各授業科目がディプロマポリシーにどの程度関連しているかを表にまとめたものです。

「カリキュラム・ツリー」の見方

カリキュラムの進行をフローチャートで示したもので、各授業科目相互の関連性と授業の展開が描かれています。ディプロマポリシーを達成するには、どの授業をどの順序に履修すればよいのかがわかります。

●学校法人加計学園 建学の理念

ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し

技術者として 社会人として 社会に貢献できる人材を養成する

●学校法人加計学園 ミッションステートメント

加計学園は、全ての人が生涯にわたって学べる「教育の場」を提供し、教育を通して科学する心を育み、調和のとれた人格と国際性を涵養することによって、世界の平和に貢献できる人材を輩出する。

●倉敷芸術科学大学 ミッション

知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材の育成

●倉敷芸術科学大学 教育の理念

大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨に則り、芸術と科学に関する学術を深く教育研究し、創造性豊かな人材を養成して、社会の発展に寄与することを目的とする。

学部ごとの教育研究上の目的および人材の養成に関する目的

学部	教育研究上の目的および人材養成の目的
芸術学部	芸術における幅広い知識と専門領域の技能、及びデジタル技術に対応した表現力を身につけ、知性と感性を活かして広く社会で活躍できる創造力豊かな人材を養成する。
生命科学部	生命科学は生命を取り巻く諸関連科学の総称であるが、生命に関する幅広い教養的知識を身につけ、生命科学の専門的知識・技能を生かして、社会のかかえている問題解決に貢献できる人材を養成する。

学科ごとの教育目標

学部	学科	教育目標
芸術学部	芸術学科	芸術を取り巻く社会環境の変化や、芸術そのものの変化を踏まえ、純粋芸術や応用芸術、メディア芸術までを広く学び、芸術に新たな需要や高い付加価値を生み出せる独創力、及び伝統技法とデジタル技術を活用した芸術的な表現力を身につけて、広く社会に寄与できる創造力豊かな人材の輩出を目標とする。
生命科学部	環境生命科学科	生態系の持続可能性をシステムとして探究する学びを通じて、生物多様性の保全や循環型社会の実現に寄与できる人材の養成を目標とする。
	健康科学科	保健科学や運動科学の面から人間の健康をとらえることができ、人間を取り巻く環境との関わりの中で21世紀の健康生活に貢献できる人材の養成を目標とする。
	動物生命科学科	急速に変化しつつある現代社会に新たな視野をもって対応し、動物と人間の関わりを領域を中心に、より良い社会環境、生活環境の構築のために働くことのできる人材の養成を目標とする。
	生命医科学科	医療における臨床検査のスペシャリストである臨床検査技師や癌診断のスペシャリストである細胞検査士、さらには疾患治療基盤の確立を志向する医療人の養成を目標とする。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

全学

倉敷芸術科学大学では、建学の理念のもとでミッションに掲げる「知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材」を輩出するため、所属学部学科に所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学修目標に到達した学生に学位を授与します。

（学修目標）

- ・五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的思考力を身につける
- ・他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く
- ・自立した社会人として活躍するための専門知識や技能を深め、究める

芸術学部

芸術学科

芸術における幅広い知識と専門領域の技能、及びデジタル技術に対応した表現力を身につけ、知性と感性を活かして広く社会で活躍できる創造力豊かな人材を輩出するため、所定の単位を修得し、以下の学修目標に到達した学生に学位を授与します。

（学修目標）

- ・社会に求められるデジタルスキルを身につける
- ・感性豊かな表現力を身につける
- ・創造的思考力を身につける
- ・地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を身につける
- ・芸術分野の専門知識や技術力を身につける

生命科学部

一貫した A&S 教育を通して身につけた知識や技術、思考力や表現力、豊かな感性をもって、生命科学のそれぞれの専門分野で役割を果たせる学生に学位を授与します。

（学修目標）

- ・生命科学に関する専門知識と技術を持ち、社会人として責任を果たせる能力
- ・自身の考えを表現できる一方で、他者の意見を受け入れ、他者と協力して行動のできる能力
- ・現代社会の問題を生命科学の立場から解決することができる思考力や行動力

環境生命科学科

環境生命科学科では、生物多様性の保全や循環型社会の実現に寄与できる人材の養成を目指します。そのため、生命科学を基礎とした生命現象と物質との関わりや生態系（エコシステム）における物質循環や生物間の相互作用に関する実践的な学びを通して以下の能力を身につけることとします。

- ・生命現象や自然環境との関わり合いを通じた感性豊かな表現力と創造的思考力
- ・解決すべき対象や問題をシステムとして捉え、多様な視点からアプローチする能力
- ・問題の解決を促進するための組織マネジメント力やチームで協働する能力
- ・持続可能な社会の実現に向けて専門的知識や技術を活用・応用する能力

健康科学科

A&S 教育で身につけた感性、表現力、思考力を基礎として、健康科学科では、スポーツ、健康、運動指導、救急医療の各分野の専門知識を生かし社会に貢献できる知識と技能を身につけた人の養成を目指します。具体的には以下の能力を身につけることとします。

- ・健康増進、競技力向上、スポーツ障害の予防について適切なケアができる能力
- ・障害、傷病などにより救援を要する人に対して現場で適切なケアを行い医療機関と連携して救助が行える能力
- ・学校教育において児童生徒の心身の健やかな成長と発育に、スポーツ、運動、栄養の面から教育できる能力
- ・現代社会の健康問題について、スポーツ、健康科学、運動指導、救急医療の各分野の立場から解決することができる能力
- ・健康科学に関する知識・技能を基礎として、他者との協働の中で協調性、積極性を発揮し、社会の向上に寄与できる能力

動物生命科学科

動物生命科学科では、A&S 教育での学修成果をもとにして、愛玩動物看護師、実験動物技術者を中心とした「人と動物の関わり領域」で身につけた知識・技能、高い倫理観をもとに、自ら問題を発見し、問題を解決し、さらに自分の考えを的確に人に伝えることができる人材の養成を目指しています。そのために教育目標に掲げた「専門的なコミュニケーション能力」「観察・治療対象の状態についてのアセスメント能力」「判断力」「創造力」「実践力」「自己研鑽能力」を学修成果として備えた人の養成を目指して、以下の能力を身につけることとします。

- ・生命の尊厳や人権尊重をふまえた高い倫理観を身につけ、動物や飼い主に寄り添うことができる能力
- ・動物の健康と生育環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力
- ・動物看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力
- ・動物看護実践の場において、適切なアセスメントに基づいて看護を創造し実践することができる能力
- ・協働するチーム内でリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力
- ・社会の変化に適切に対応できる動物看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につけ研鑽しつづける能力

生命医科学科

生命医科学科では、アートの思考と科学的思考を備え、臨床検査の基礎的知識・技術を修得し、社会・医療現場でのコミュニケーション力、自分で考える力、発生した問題を紐解ける問題解決力を身につけた人材の養成を目指します。具体的には、以下の能力を身につけることとします。

- ・見て感じてイメージできるアートの思考能力と観察し検証・考察できる科学的思考能力
- ・臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力
- ・社会人、医療人として社会、医療現場に適応できるコミュニケーション能力
- ・目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力
- ・人に優しく丁寧に話せる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術学部

芸術学科

芸術学部芸術学科では、芸術における幅広い知識を学ぶための理論系科目、専門領域の技能を身につけるための導入科目・発展科目・卒業研究を配置し、領域横断型の実践的学習を行う。導入科目や拡張科目を通してデジタル技術に対応した表現力を修得する。

生命科学部

生命科学部では、「知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材」を育成するため、A&S Basic 科目において、幅広い知識、思考力や表現力を身につけ、豊かな感性を育むとともに、A&S Advanced 科目を系統的に学び、社会に貢献するための専門性を磨きます。

4年間のカリキュラムにおいて、実践的な実験・実習、フィールドワーク、Project Based Learning (PBL) を通して、チームで行動する力や問題解決力、マネジメント力を身につけます。

環境生命科学科

環境生命科学科では、「知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材」を育成するため、A&S Basic Program において、幅広い知識、思考力や表現力を身につけ、豊かな感性を育みます。A&S Advanced Program においては、循環型社会の実現に貢献できる専門性を磨くための講義科目を系統的に配置しています。また、問題解決に必要とされるチームで行動する力やマネジメント力を身につけるために、実験・実習、フィールドワーク、Project Based Learning (PBL) などグループワークを伴う科目を配置しています。

健康科学科

健康科学科では、ディプロマポリシーに基づき、人体の構造、健康、栄養、運動に関する領域を広く学び、それぞれが専門として目指す3つの分野である、健康運動、救急医療、アスレティックトレーナーの専門的知識と技術を修得できるカリキュラムを編成しています。これらの専門的スキルを社会で実現できる能力を身につけるため、現場実習とインターンシップ関連科目を配置し、また、研究倫理と専門領域の問題発見・解決能力を身につけるため卒業研究を必修科目として配置しています。

動物生命科学科

動物生命科学科では、生命の尊厳に関係する倫理や法規、動物の適性飼養管理に関する知識・技能を基礎として、科学的根拠に基づいた質の高い愛玩動物看護師・実験動物技術者としての能力を高めることができるカリキュラムを編成しています。4年間の学修の総まとめとしての卒業研究や臨床実習での実践を通して、「考える力」「伝える力」「問題を発見・解決する力」を磨きます。

生命医科学科

生命医科学科では、医療の仕組み、臨床検査の種類、臨床検査技師の業務・役割・医療倫理を広く学びながら、各種臨床検査項目の臨床的意義、測定法等の知識を修得するとともに、各種臨床検査項目の測定技術を修得して専門性を高め、さらに検査データから偽りの値や病態を判読できる思考力・判断力を高めるカリキュラムを構成しています。病院実習では臨床検査技師の現場での働き方から自分の将来像を描き、また、患者様との接し方、チーム医療についても学びます。修得した専門分野の総合力を臨床検査技師国家試験で確認します。

Basic Program (全学32生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	授業内容	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数	授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与				
					1年次		2年次		3年次		4年次					講義	演習	実験・実習	[表現力・創造的思考力] 五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的思考力を身につける	[実践力] 他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く
					前	後	前	後	前	後	前	後								
C o r e 科 目	A&S Core 1	アート表現	2	◎	2							30	60		◎	○				
	A&S Core 2	工芸制作	2	◎	2							30	60		◎	○				
	A&S Core 3	サバイバル	2	◎	2							30	60		◎	○				
	A&S Core 4	発酵サイエンス	2	◎	2							30	60		◎	○				
	A&S Core 5	日本語ライティング	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 6	クリティカル思考入門	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 7	対話型鑑賞	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 8	五感学	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 9	ライフビルディング	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 10	セルフアウェアネス	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 11	スポーツウェルネス	1	◎	1							15	30		◎	○				
	A&S Core 12	フィジカルケア	1	◎	1							15	30		◎	○				
S t a n d a r d 科 目	リテラシー科目群	情報リテラシー	2	◎	2							30	60		◎	○				
		プログラミング	2	○	2							30	60		◎	○				
		メディアリテラシー	2	○	2								30	60		◎	○			
		データリテラシー	2	○	2								30	60		◎	○			
	思考科目群	文化と言語表現		2	○	2							30	60		◎	○			
		社会と言語表現		2	○	2							30	60		◎	○			
		芸術的思考		2	○	2							30	60		◎	○			
		科学的思考		2	○	2							30	60		◎	○			
		キャリアデザイン科目群	キャリアデザイン I	2	◎	2	(2)						30	60		◎	○			
	キャリアデザイン II		2	○		2	(2)					30	60		◎	○				
	リーダーシップ実践		2	○	2							30	60		◎	○				
マナーマイスター		2	○	2							30	60		◎	○					
地域デザイン		2	○	2							30	60		◎	○					

系列	授業科目	授業内容	単位数	必修 選択 別	毎週授業時間数								総授業時間数		備考	〔表現力・創造的思考力〕五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的思考力を身につける	〔実践力〕他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く	
					1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習				実験・実習
					前	後	前	後	前	後	前	後						
Standard 科目群	26	英語コミュニケーションⅠ	2	○	2							30	60		◎	○		
	27	英語コミュニケーションⅡ	2	○	2							30	60		◎	○		
	28	中国語コミュニケーションⅠ	2	○	2							30	60		◎	○		
	29	中国語コミュニケーションⅡ	2	○	2							30	60		◎	○		
	30	韓国語コミュニケーションⅠ	2	○	2							30	60		◎	○		
	31	韓国語コミュニケーションⅡ	2	○	2							30	60		◎	○		
	32	日本語Ⅰ	2	◎	2							30	60	外国人留学生対象	◎	○		
	33	日本語Ⅱ	2	◎	2							30	60		◎	○		
	34	日本語Ⅲ	2	◎	2							30	60		◎	○		
	35	日本語Ⅳ	2	◎	2							30	60		◎	○		
資格関連 科目群	36	日本国憲法	2	○	2							30	60		◎	○		
	37	保健体育概論	2	○	2							30	60		◎	○		
	38	保健体育実技Ⅰ	1	○	2							30	15		◎	○		
	39	保健体育実技Ⅱ	1	○	2							30	15		◎	○		
Fieldwork 科目	40	A&S Fieldwork 1	2	○		2						30	60		○	◎		
	41	A&S Fieldwork 2	2	○		2						30	60		○	◎		
	42	A&S Fieldwork 3	2	○		2						30	60		○	◎		
	43	A&S Fieldwork 4	2	○		2						30	60		○	◎		
	44	A&S Fieldwork 5	2	○		2						30	60		○	◎		
	45	A&S Fieldwork 6	2	○		2						30	60		○	◎		
	46	認定フィールドワーク実践Ⅰ	2	○		2						30	60		○	◎		
	47	認定フィールドワーク実践Ⅱ	2	○		2						30	60		○	◎		
48	認定フィールドワーク実践Ⅲ	2	○		2						30	60		○	◎			

系列	授業科目	単位数	必修 選択別	毎週授業時間数								総授業 時間数	授業外 学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与						
				1年次		2年次		3年次		4年次					講義	演習・実習	1-(1) 社会で求められる デジタルスキルを 身につける	1-(2) 感性豊かな表現力 を身につける	1-(3) 創造的思考力を 身につける	1-(4) 地域の課題や専攻 分野のテーマを題材 に実践力を身につける	1-(5) 芸術分野の専門知 識や技術力を身に つける
				前	後	前	後	前	後	前	後										
PBL科目	A&S PBL I	2	○		2						60	30		△	△	△	○	△			
	A&S PBL II	2	○				2				60	30		△	△	△	○	△			
	プロジェクト演習Ⅰ	2	○	2							30	60		△	△	△	○	△			
	プロジェクト演習Ⅱ	2	○	2							30	60		△	△	△	○	△			
	プロジェクト演習Ⅲ	2	○		2						30	60		△	△	△	○	△			
	プロジェクト演習Ⅳ	2	○			2					30	60		△	△	△	○	△			
	総合プロジェクト実習Ⅰ	2	○				2				30	60		△	○	○	◎	○			
	総合プロジェクト実習Ⅱ	2	○					2			30	60		△	○	○	◎	○			
理論系科目	西洋美術史	2	○	2							30	60						○			
	日本美術史	2	○	2							30	60						○			
	東洋美術史	2	○	2							30	60						○			
	デザイン史	2	○	2							30	60						○			
	日本近代美術史	2	○	2							30	60						○			
	工芸史	2	○	2							30	60						○			
	メディア文化史	2	○	2							30	60		○				○			
	美学・芸術学概論	2	○	2							30	60			○	○		○			
	動画論	2	○	2							30	60			○	○		○			
	メディア・アート論	2	○	2							30	60		○		○		○			
導入科目	アート系	絵画基礎Ⅰ	2	○	2						30	60			○	○		○			
		絵画基礎Ⅱ	2	○	2						30	60			○	○		○			
		絵画基礎Ⅲ	2	○		2						30	60			○	○		○		
		工芸基礎	2	○	2							30	60			○	○		○		
		彫刻基礎	2	○	2							30	60			○	○		○		
		造形基礎	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
	メディアデザイン系	デザイン基礎Ⅰ	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
		デザイン基礎Ⅱ	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
		デザイン基礎Ⅲ	2	○			2					30	60		△	○	○		○		
		イラスト基礎Ⅰ	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
		イラスト基礎Ⅱ	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
		動画基礎	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
		アニメーション基礎	2	○	2							30	60		○	○	○		○		
	先端メディア系	マンガ基礎	2	○	2							30	60		△	○	○		○		
		先端メディア基礎Ⅰ	2	○	2							30	60		◎	○	○		○		
		先端メディア基礎Ⅱ	2	○	2							30	60		◎	○	○		○		
		先端メディア基礎Ⅲ	2	○		2						30	60		◎	○	○		○		
		ゲーム基礎	2	○	2							30	60		◎	○	○		○		
		プログラミング基礎	2	○	2							30	60		◎	○	◎		○		

											ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与										
系列	授業科目	単 位 数	必修 選 択 別	毎 週 授 業 時 間 数								総授業 時間数		授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	1-(1) 社会で求められる デジタルスキルを 身につける	1-(2) 感性豊かな表現力 を身につける	1-(3) 創造的思考力を 身につける	1-(4) 地域の課題や専攻 分野のテーマを題 材に実践力を身に つける	1-(5) 芸術分野の専門知 識や技術力を身に つける	
				1年次		2年次		3年次		4年次		講 義	演 習								実 験・ 実 習
				前	後	前	後	前	後	前	後										
40	3DCG基礎 I	2	○	2							30	60		◎	○	○			○		
41	3DCG基礎 II	2	○	2							30	60		◎	○	○			○		

系列	授業科目	単 位 数	必修 選 択 別	毎 週 授 業 時 間 数								総 授 業 時 間 数	授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							
				1年次		2年次		3年次		4年次					講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	1-(1) 社会で求められる デジタルスキルを 身につける	1-(2) 感性豊かな表現力 を身につける	1-(3) 創造的思考力を 身につける	1-(4) 地域の課題や専攻 分野のテーマを題 材に実践力を身に つける	1-(5) 芸術分野の専門知 識や技術力を身に つける
				前	後	前	後	前	後	前	後											
42	コンピュータ演習	2	◎	2							30	60		◎					△			
43	写真基礎	2	○	2							30	60		○	○	○			○			
44	サウンドデザイン	2	○	2							30	60		○	○	○			○			
45	モーショングラフィック	2	○	2							30	60		○	○	○			○			
46	色彩学	2	○	2							30	60			○	○			○			
47	知的財産権	2	○	2							30	60		△			○		○			
48	アートプロデュースⅠ	2	○				2				30	60		△	◎	△	○		○			
49	アートプロデュースⅡ	2	○				2				30	60		△	◎	△	○		○			
50	アート実習Ⅰ	2	○				4				60	30			○	○	○		◎			
51	アート実習Ⅱ	2	○				4				60	30			○	○	○		◎			
52	アート実習Ⅲ	2	○				4				60	30			○	○	○		◎			
53	メディアデザイン実習Ⅰ	2	○				4				60	30		△	○	○	○		◎			
54	メディアデザイン実習Ⅱ	2	○				4				60	30		△	○	○	○		◎			
55	メディアデザイン実習Ⅲ	2	○				4				60	30		△	○	○	○		◎			
56	先端メディア	2	○				4				60	30		◎	○	○	○		◎			
57	先端メディア実習Ⅱ	2	○				4				60	30		◎	○	○	○		◎			
58	先端メディア実習Ⅲ	2	○				4				60	30		◎	○	○	○		◎			
59	芸術文化論	2	○			2					30	60			△	△			○			
60	文化財学概論	2	○			2					30	60							○			
61	博物館概論	2	○	2							30	60		○			△		○			
62	博物館学特論	2	○		2						30	60		○			△		○			
63	博物館資料論	2	○		2						30	60		△			△		○			
64	博物館経営論	2	○			2					30	60					△		○			
65	博物館資料保存論	2	○				2				30	60		△			△		○			
66	博物館展示論	2	○			2					30	60		△			△		○			
67	博物館実習	3	○					6			90	45		△			△		○			
68	博物館教育論	2	○	2							30	60					△		○			
69	博物館情報・メディア論	2	○	2							30	60		○			△		○			
70	芸術特論	2	○				2				30	60		△	○	○	△		○			
71	卒業研究	10	◎					10			300	150		○	◎	◎	◎		◎			

環境生命科学科 Advanced Program (32生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	授業時間数				総授業時間数		授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							
				1年次		2年次		3年次				4年次		講義	実験・実習	生命現象や自然環境との関わり合いを通じた感性豊かな表現力と創造的思考力	解決すべき対象や問題をシステムとして捉え、多様な視点からアプローチする能力	問題の解決を促進するための組織マネジメント力やチームで協働する能力	持続可能な社会の実現に向けて専門的知識や技術を活用・応用する能力
				前	後	前	後	前	後			前	後						
PBL科目	A&S PBL I	2	○		60				60	30		◎	○	○	△				
	A&S PBL II	2	○			60			60	30		◎	○	○	△				
	生命科学ゼミナール I	4	○		60				60	120		◎	○		△				
	生命科学ゼミナール II	4	○			60			60	120		◎	○		△				
導入基礎科目	基礎生物学 I	2	○	30					30	60			○						
	基礎生物学 II	2	○		30				30	60			○						
	基礎化学 I	2	○	30					30	60			○						
	基礎化学 II	2	○		30				30	60			○						
	基礎物理学 I	2	○	30					30	60			○						
	基礎物理学 II	2	○		30				30	60			○						
	基礎地学 I	2	○	30					30	60			○						
	基礎地学 II	2	○		30				30	60			○						
	基礎生物学実験	2	○		60					60	30				△	○			
	基礎化学実験	2	○			60				60	30				△	○			
	基礎物理学実験	2	○	60						60	30				△	○			
	基礎地学実験	2	○			60				60	30				△	○			
	専門基礎科目	生命科学基礎実験	1	◎	30					30	15					△	◎		
		動物分類学	2	○		30				30	60						○		
		動物生態学	2	○			30			30	60						○		
		植物生理学	2	○		30				30	60						○		
基礎微生物学 (実習を含む)		2	○		30				30	60						○			
基礎分子生物学		2	○		30				30	60			○						
生化学		2	○	30					30	60			○						
天然物化学		2	○		30				30	60						○			
有機化学		2	○		30				30	60			○						
生物の構造と機能		2	○		30				30	60			○						
生体物性工学		2	○			30			30	60						○			
流域生態系実習		2	○		60					60	30				◎	○			
科学論文演習		2	◎			30				30	60					○			
発展科目		系統進化学	2	○			30			30	60						○		
		水界生態学	2	○			30			30	60						○		
		保全生態学	2	○				30		30	60						○		
	水族育成学	2	○				30		30	60						○			
	植物栽培学 (実習を含む)	2	○			30			30	60						○			
	応用微生物学	2	○			30			30	60						○			
	応用天然物化学	2	○		30				30	60						○			
	生命科学産業論	2	○			30			30	60						○			
	環境化学	2	○			30			30	60						○			
	応用生体物性工学	2	○				30		30	60						○			
医用工学	2	○			30			30	60						○				

ディプロマポリシーに対する関与の程度
 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与

系列	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 別	授 業 時 間 数								総 授 業 時 間 数	授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	生命現象や自然環境との関わり合いを通じた感性豊かな表現力と創造的思考力	解決すべき対象や問題をシステムとして捉え、多様な視点からアプローチする能力	問題の解決を促進するための組織マネジメント力やチームで協働する能力	持続可能な社会の実現に向けて専門的知識や技術を活用・応用する能力			
				1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習
				前	後	前	後	前	後	前	後										
41	フィールド科学実習Ⅰ	2	◎			60					60	30				◎	○				
42	フィールド科学実習Ⅱ	2	◎				60				60	30				◎	○				
43	生命科学実験	3	◎			90					90	45				△	◎				
44	専門英語	2	◎				30				30	60					○				
45	生涯学習概論	2	○				30			30		60					△				
46	博物館概論	2	○		30					30		60					△				
47	博物館学特論	2	○		30					30		60					△				
48	博物館資料論	2	○		30					30		60					△				
49	博物館経営論	2	○				30			30		60					△				
50	博物館資料保存論	2	○					30		30		60					△				
51	博物館展示論	2	○			15	15			30		60					△				
52	博物館実習	3	○					45	45		90	45					△				
53	博物館教育論	2	○		30					30		60					△				
54	博物館情報・メディア論	2	○		30					30		60					△				
55	卒業研究	8	◎						120	120		240	120		○	○	○	◎			

学芸員関連科目

健康科学科 Advanced Program (32生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	PBL 科目	授業科目	単位数	必修 選択 別	授業時間数								総授業 時間数		授業外 学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
					1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習			実験・実習	健康増進、競技力向上、スポーツ障害の予防について適切なケアができる能力	障害、傷病などにより救援を要する人に対して現場で適切なケアを行い医療機関と連携して救助が行える能力	学校教育において児童生徒の心身の健全な成長と発育に、スポーツ、運動、栄養の面から教育できる能力	現代社会の健康問題について、スポーツ、健康科学、運動指導、救急医療の各分野の立場から解決することができる能力	健康科学に関する知識・技能を基礎として、他者との協働の中で協調性、積極性を発揮し、社会の向上に寄与できる能力
					前	後	前	後	前	後	前	後										
1		A&S PBL I	2	○			60					60	30							○		
2		A&S PBL II	2	○					60			60	30							○		
3		★生化学	2	○		30					30		60						○			
4	◆	★生理学	2	○		30					30		60						○			
5	○◆	★運動生理学	2	○			30				30		60			○			△			
6	◆	健康スポーツ概論	2	○		30					30		60			△			◎			
7	◆	健康管理概論	2	○		30					30		60						◎			
8		食品栄養学	2	○		30					30		60						◎			
9		食品学総論	2	○		30					30		60						◎			
10	◆	栄養学概論	2	○		30					30		60						◎			
11	◆	生活習慣病予防	2	○				30			30		60						◎			
12	◆△	メンタルヘルス	2	○		30					30		60						◎	△		
13		★微生物学	2	○		30					30		60						◎			
14		食品衛生学	2	○				30			30		60						◎			
15		保健医療総論	2	○		30					30		60						◎			
16		★環境保健科学	2	○		30					30		60						◎			
17		学校保健	2	○				30			30		60						◎			
18		★衛生学・公衆衛生学	2	○				30			30		60						◎	○		
19	○◆	スポーツ医学Ⅰ	2	○		30					30		60						◎			
20	○◆	★一般救急救命	2	○				30			30		60			○			◎			
21	○◆△	スポーツトレーニング理論	2	○		30					30		60						◎			
22	◆△	スポーツトレーニング実習	2	○		60						60	30			○				◎		
23	○◆△	体力測定法(実習含む)	2	○		30					30		60			△						
24	◆△	運動負荷試験(実習含む)	2	○				30			30		60						◎			
25	◆△	健康運動のプログラミング	2	○				30			30		60						◎	○		
26	◆△	運動処方	2	○				30			30		60						◎	○		
27	○◆	トレーニング科学	2	○				30			30		60			○						
28	◆	トレーニング実習	2	○				60				60	30						◎	△		
29	◆△	エアロビクスサイズ実習	2	○				60				60	30			△				○		
30		ヒーリング実習	2	○				60				60	30			△				○		
31	○◆	スポーツ心理学	2	○				30			30		60						△			
32	○◆△	スポーツ栄養学	2	○				30			30		60						◎	○		
33	○△	スポーツ社会学	2	○				30			30		60							○		
34	○△	スポーツマネジメント	2	○				30			30		60							○		
35		体育原理	2	○				30			30		60						◎	△		
36	◆	発育・発達と老化	2	○				30			30		60						◎	○		
37		キッズスポーツ理論	2	○				30			30		60						◎	○		
38		キッズスポーツ実習	2	○				60				60	30						◎	○		
39	○	体表解剖学	2	○		30					30		60						△			
40	○◆	機能的解剖学	2	○		30					30		60						△			
41	○	アスレティックトレーナー概論	2	○		30					30		60						○			
42	○△	スポーツ指導者基礎	2	○		30					30		60						◎			
43	○◆△	ストレッチ理論(実習含む)	2	○		30					30		60			○						
44	○△	スポーツ指導論Ⅰ	2	○		30					30		60						◎			
45	○	スポーツ指導論Ⅱ	2	○		30					30		60						◎			
46	○	スポーツコンディショニング理論	2	○		30					30		60			○						
47	○	スポーツ医学Ⅱ	2	○		30					30		60						◎			
48	○	スポーツ医学Ⅲ	2	○		30					30		60						◎			
49	○	スポーツ障害論	2	○		30					30		60						◎			
50	○	テーピング理論(実習含む)	2	○		30					30		60						◎			
51	○◆	バイオメカニクス	2	○		30					30		60						△			
52	○	バイオメカニクス演習	2	○				30			30		60						△			
53	○	アスレティックリハビリテーション理論	2	○				30			30		60						○			
54	○	アスレティックリハビリテーション実習	2	○				60				60	30						◎	△		

系 列	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 別	授 業 時 間 数								総 授 業 時 間 数	授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							
				1年次		2年次		3年次		4年次					講 義	演 習	実 験・ 実 習	健康増進、競技力向上、スポーツ障害の予防について適切なケアができる能力	障害、傷病などにより救援を要する人に対して現場で適切なケアを行い医療機関と連携して救助が行える能力	学校教育において児童生徒の心身の健全な成長と発育に、スポーツ、運動、栄養の面から教育できる能力	現代社会の健康問題について、スポーツ、健康科学、運動指導、救急医療の各分野の立場から解決することができる能力	健康科学に関する知識・技能を基礎として、他者との協働の中で協調性、積極性を発揮し、社会の向上に寄与することができる能力
				前	後	前	後	前	後	前	後											
55	○	アスレティックトレーナー実習Ⅰ	2	○					60		60	30		○	◎			△				
56	○	アスレティックトレーナー実習Ⅱ	2	○					60		60	30		○	◎			△				
57	○	アスレティックトレーナー実習Ⅲ	2	○					60		60	30		○	◎			△				
58		★救急医学概論Ⅰ	2	○	60					60		30		◎	○							
59		★救急医学概論Ⅱ	2	○	60					60		30		◎	○							
60		★解剖学	2	○	30					30		60		◎	○							
61		★病理学	2	○	30					30		60		○	◎							
62		★薬理学	2	○	30					30		60		○	◎							
63		★精神医学	2	○		60				60		30		○	◎							
64		★放射線科学	2	○		30				30		60		○	◎							
65		★内科学Ⅰ(総論)	2	○	60					60		30		○	◎							
66		★内科学Ⅱ(呼吸・循環系)	2	○		60				60		30		○	◎							
67		★内科学Ⅲ(消化器・内分泌系)	2	○			60			60		30		○	◎							
68		★内科学Ⅳ(神経系)	2	○			60			60		30		○	◎							
69		★外科学Ⅰ(総論)	2	○			60			60		30		○	◎							
70		★外科学Ⅱ(各論)	2	○			60			60		30		○	◎							
71		★小児科学	2	○			60			60		30		○	◎							
72		★整形外科	2	○			60			60		30		○	◎							
73		★医学検査	2	○			60			60		30		○	◎							
74		★産婦人科学	2	○			60			60		30		○	◎							
75		★脳外科学	2	○			60			60		30		○	◎							
76		★救命救助法	2	○				90			90	0	実習	○		◎		○				
77		★救急・災害医療	2	○				30		30		60		○	◎							
78		★シミュレーションⅠ	2	○	90						90	0	実習		○	◎		○				
79		★シミュレーションⅡ	2	○		90					90	0	実習		○	◎		○				
80		★シミュレーションⅢ	2	○			90				90	0	実習		○	◎		○				
81		★シミュレーションⅣ	3	○					135		135	0	実習		○	◎		○				
82		★病院内実習	12	○					540		540	0	実習		○	◎						
83		★救急車同乗実習	3	○					135		135	0	実習		○	◎						
84		ウィンタースポーツ実習	1	○	30						30	15				◎						
85		生涯スポーツ論	2	○		30				30		60				◎						
86		野外スポーツ実習論	2	○			30			30		60				◎						
87		野外スポーツ実習	2	○			60				60	30				◎						
88		スポーツ実習Ⅰ(陸上)	2	○			60				60	30				◎						
89	◆	△	2	○	60						60	30				◎						
90		スポーツ実習Ⅲ(球技)	2	○		60					60	30				◎						
91		スポーツ実習Ⅳ(武道)	2	○			60				60	30				◎						
92		スポーツ実習Ⅴ(テニス)	2	○			60				60	30				◎						
93		スポーツ実習Ⅵ(体操)	2	○			60				60	30				◎						
94		ゼミナール	4	◎			30	30		60		120				◎		○				
95		卒業研究	6	◎				90	90		180	90				○		◎				
96		基礎演習	2	◎	15	15				30		60		△	△		△					

○：アスレティックトレーナーの受験資格科目

★：救急救命士受験対象科目

△：スポーツプログラマーⅠ種養成講習会専門科目の講習免除科目「(なお、教養科目「保健体育実技Ⅱ」を必ず履修すること。)」

◆：健康運動指導士(健康運動実践指導者を含む)の受験資格科目「(なお、教養科目「保健体育実技Ⅱ」を必ず履修すること。)」

系列	授業科目	単位数	必修選択別	授業時間数								総授業時間数	授業外学習時間数	備考	デュプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与								
				1年次		2年次		3年次		4年次					講義	演習	実験・実習	生命の尊厳や人権尊重をふまえた高い倫理観を身につけ、動物や飼い主に寄り添うことができる能力	動物の健康と生活環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力	動物看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力	動物看護実践の場において、適切なアセスメントに基づいて看護を創造し実践することができる能力	協働するチーム内でリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力	社会の変化に適切に対応できる動物看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につける能力
				前	後	前	後	前	後	前	後												
36	動物内科看護学	2	○					30				30	60			○		◎					
37	動物看護技術学実習	2	○	60									60	30		○		◎					
38	動物内科看護学実習	2	○					60					60	30		○		◎					
39	動物看護学概論	2	◎		30							30	60				○	◎					
40	動物臨床検査学	2	◎			30						30	60			◎			○				
41	動物臨床検査学実習	2	○			60							60	30		◎				○			
42	動物臨床看護学総論	2	○					30				30	60				○	◎					
43	動物臨床看護学各論Ⅰ	2	○					30				30	60					◎					
44	動物臨床看護学各論Ⅱ	2	○						30			30	60					◎					
45	動物臨床看護学各論Ⅲ	2	○						30			30	60					◎					
46	動物医療コミュニケーション	2	○						30			30	60				◎						
47	愛玩動物学	2	○					30				30	60			◎							
48	動物臨床看護学実習	1	○					30				30	15				○	◎					
49	動物外科看護学	2	○					30				30	60					◎					
50	動物外科看護学実習	2	○						60				60	30				◎		○			
51	実験動物学	2	○					30				30	60			◎							
52	実験動物学演習	4	○						30	30		30	60							◎			
53	比較動物学	2	◎						30							◎							
54	動物看護関連法規	1	○		15							15	30							◎			
55	動物愛護・適正飼養関連法規	1	○		15							15	30							◎			
56	動物形態機能学実習	1	○		30							30	15			◎							
57	動物生活環境学	1	○								15	15	30			◎							
58	動物愛護・適正飼養実習	2	○	60									60	30				◎					
59	ペット関連産業概論	1	○								15	15	30			○				◎			
60	特別講義	2	○		15	15						30	60							○			

生命医科学科Advanced Program (32生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	授業時間数								総授業 時間数	授業外 学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							
				1年次		2年次		3年次		4年次					講義	演習	実験・実習	見えて感じてイメージできる能力 アートの能力 証・観察できるサイエンス的能力	臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力	社会人、医療人として社会、医療現場に適應できるコミュニケーション能力	目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力	人に優しく丁寧に話せる能力
				前	後	前	後	前	後	前	後											
PBL科目	A&S PBL I	2	○			60					60	30		○				○				
	A&S PBL II	2	○			60					60	30		○				○				
	臨床検査総合実習	1	○					45		45		0			◎	○		○				
	臨地実習	11	○						495		495	0	※欄外参照	○	○	○	◎	○				
	卒業研修	8	○						120	120		240	120	○	○	○	◎	○				
専門基礎科目	基礎化学 I	2	○	30						30		60			○							
	基礎化学 II	2	○	30						30		60			○							
	基礎化学実験	2	○		60						60	30			○							
	基礎生物学 I	2	○	30						30		60		○								
	基礎生物学 II	2	○	30						30		60		○								
	分析化学	2	○	30						30		60		○								
	有機化学	2	○	30						30		60			○							
	基礎生物学実験	2	○		60						60	30		○								
	無機化学 I	2	○	30						30		60			○							
	無機化学 II	2	○	30						30		60			○							
	基礎分子生物学	2	○		30					30		60			○							
	医学概論	2	◎	30						30		60				◎						
	基礎解剖学	1	◎	15						15		30			◎							
	解剖学	2	◎	30						30		60			◎							
	組織学	2	◎	30						30		60		◎								
	解剖学実習	1	◎		45						45	0	講義15時間を含む		◎							
	生理学	2	◎	30						30		60		◎								
	基礎生理検査学	2	◎	30						30		60		◎								
	生理学実習	1	◎		45						45	0			◎			○				
	導入科目	生化学 I	2	◎	30						30		60		◎							
生化学 II		2	◎	30						30		60		◎								
生化学実習		1	◎		45						45	0		○	◎							
検査機器論		2	◎	30						30		60			◎							
微生物学		1	◎	15						15		30		◎								
臨床検査室概論		1	◎	15						15		30	病院等の見学×3	○		◎		○				
循環機能検査学		2	◎	30						30		60		○	◎							
呼吸・神経機能検査学		2	◎	30						30		60		○	◎							
超音波・画像検査学		2	◎	30						30		60		○	◎							
臨床生理学実習		2	○				90				90	0			◎		○	○				
病理学 I		2	◎		30					30		60			◎							
病理学 II		2	◎		30					30		60			◎							
病理学実習		1	○				45				45	0		○	◎							
臨床化学 I		2	◎	30						30		60			◎							
臨床化学 II		2	◎	30						30		60			◎							
試薬と機器		1	○		15					15		30			○							
臨床化学実習		1	◎			45					45	0			◎		○					
臨床微生物学 I		2	◎	30						30		60			◎							
臨床微生物学 II		2	◎	30						30		60			◎							
微生物学実習		2	◎			90					90	0			◎		○					
臨床血液学 I	2	◎	30						30		60			◎								
臨床血液学 II	2	◎	30						30		60			◎								
臨床血液学実習	1	◎		45						45	0			◎		○						
一般検査学	2	◎	30						30		60			◎								
医動物学	2	◎	30						30		60			◎								
発展科目	臨床検査総論実習	1	◎	45						45	0			◎		○						
	臨床免疫学	2	◎	30						30		60			◎							
	臨床免疫学実習	1	◎	45						45	0			◎		○						
	輸血・移植検査学	2	◎	30						30		60			◎		○					
	輸血・移植検査学実習	2	○			90					90	0			◎		○					
遺伝子検査学	2	○			30				30		60			◎								

系列	授業科目	単位数	必修選択別	授業時間数				総授業時間数	授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							
				1年次	2年次	3年次	4年次				講義	演習	実験・実習	見て感じてイメージできる能力 アート、観察し検証・考察できるサイエンス的能力	臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力	社会人、医療人として社会、医療現場に適應できるコミュニケーション能力	目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力	人に優しく丁寧に話せる能力
				前	後	前	後											
56	遺伝子検査学実習	1	○				45		45	0		◎						
57	医用工学概論	1	◎				15		15	30		◎						
58	医用工学実習	1	◎				45		45	0		○			◎			
59	医療安全管理学	1	○				15		15	30				○	◎	○		
60	医療安全管理学実習	1	○				30		30	15				○	◎	○		
61	生命社会科学概論	1	◎				15		15	30				○		○		
62	公衆衛生学	2	◎				30		30	60				◎				
63	検査管理総論（関係法規含む）	2	○				30		30	60					◎			
64	医学総論（栄養学・薬理学）	2	◎				30		30	60					◎			
65	認知症検査	1	◎				15		15	30					○	◎		
66	臨床検体管理学	2	◎				30		30	60			◎		○			
67	臨床病理学	2	○				30		30	60					◎			
68	臨床検査学特論Ⅰ	2	◎				30		30	60			○		◎			
69	臨床検査学演習Ⅰ	2	○				30		30	60			○		◎			
70	臨床検査学特論Ⅱ	2	◎				30		30	60			○		◎			
71	臨床検査学演習Ⅱ	2	○				30		30	60			○		◎			
72	細胞学総論Ⅰ	2	◎		30				30	60			◎					
73	細胞学総論Ⅱ	2	○		30				30	60			◎					
74	臨床細胞学演習Ⅰ	1	○			30			30	15					○			
75	臨床細胞学演習Ⅱ	1	○				30		30	15					○			
76	細胞診断学特論Ⅰ	2	○					90	90	0					○			
77	細胞診断学特論Ⅱ	2	○					90	90	0					○			
78	細胞診断学特論Ⅲ	2	○					90	90	0					○			
79	細胞診断学特論Ⅳ	1	○					45	45	0					○			
80	細胞診断学特論Ⅴ	1	○					45	45	0					○			
81	細胞診断学特論Ⅵ	1	○					45	45	0					○			

【履修上の注意】

- ・臨地実習は、学外の提携病院において行います。
- ・4年次細胞診コースを目指す学生は、細胞診コースの「細胞学総論Ⅰ・Ⅱ」、「臨床細胞学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修する必要があります。
- ・4年次ゼミコースを目指す学生は、「卒業研修」を履修する必要があります。
- ・4年次「臨床検査技師国家試験」を受験するには、1年次、2年次、3年次前期および4年次の必修科目と3年次通年の選択科目を履修し、単位を修得する必要があります。

Basic Program (32生) カリキュラム・ツリー

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名								
	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
<p>〔表現力・創造的思考力〕 五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的思考力を身につける</p> <p>〔実践力〕 他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く</p>	◎A&S Core 1～12						◎必修科目 ■選択科目 ■教員免許 第66条の6に定める科目		
	◎情報リテラシー ■	メディアリテラシー	プログラミング	データリテラシー					
	文化と言語表現	社会と言語表現	科学的思考	芸術的思考					
	◎キャリアデザインⅠ (◎キャリアデザインⅠ)	キャリアデザインⅡ (キャリアデザインⅡ)	リーダーシップ実践	マナーマイスター	地域デザイン				
	英語コミュニケーションⅠ ■	英語コミュニケーションⅡ	中国語コミュニケーションⅠ	中国語コミュニケーションⅡ	韓国語コミュニケーションⅠ	韓国語コミュニケーションⅡ	◎日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生) ◎日本語Ⅲ・Ⅳ (留学生)		
	日本国憲法 ■	保健体育概論 ■	保健体育実技Ⅰ ■	保健体育実技Ⅱ ■					
	A&S Fieldwork 1～6								認定フィールドワーク実践Ⅰ～Ⅲ
〔専門知識・技能〕 自立した社会人として活躍するための専門知識や技能を深め、究める	※各学部学科の個性に応じたディプロマポリシーに詳細化され、それぞれが開設するAdvanced Programの科目に反映している (次頁以降参照)								

教育目標： 生態系の持続可能性をシステムとして探究する学びを通じて、
生物多様性の保全や循環型社会の実現に寄与できる人材の養成を目標とする。

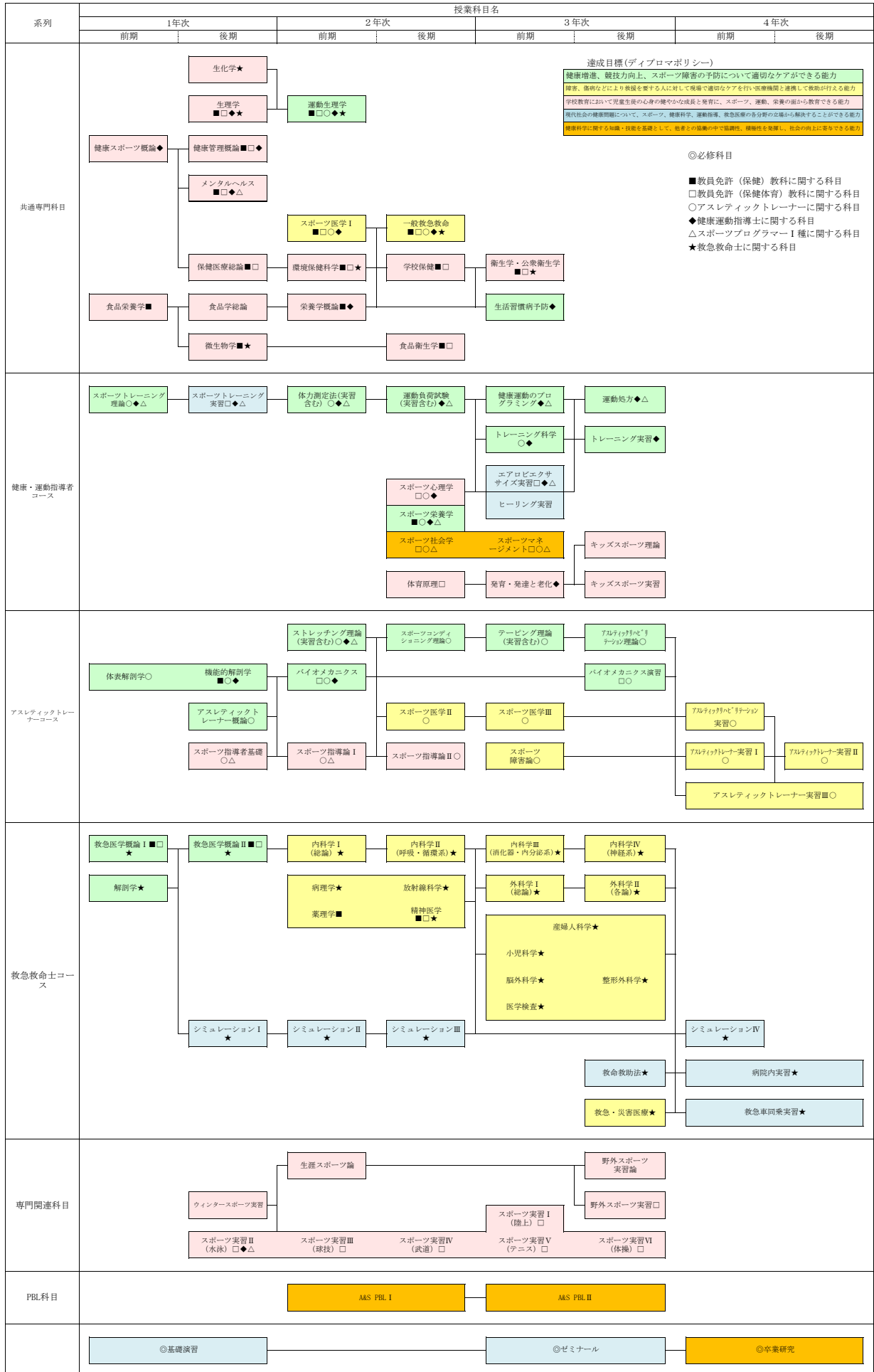
達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
生命現象や自然環境との関わり合いを通じた感性豊かな表現力と創造的思考力			A&S PBL I		A&S PBL II			
			生命科学ゼミナール I	生命科学ゼミナール II				
解決すべき対象や問題をシステムとして捉え、多様な視点からアプローチする能力	基礎化学 I ■ ■	基礎化学 II ■ ■	有機化学 ■					
	基礎地学 I ■ ■	基礎地学 II ■ ■						
	基礎生物学 I ■ ■	基礎生物学 II ■ ■	生物の構造と機能 ■					
		生化学 ■	基礎分子生物学 ■					
	基礎物理学 I ■ ■	基礎物理学 II ■ ■						
問題の解決を促進するための組織マネジメント力やチームで協働する能力			流域生態系実習		◎フィールド科学実習 I	◎フィールド科学実習 II		
持続可能な社会の実現に向けて専門的知識や技術を活用・応用する能力		基礎物理学実験 ■						
			基礎生物学実験 ■					
			基礎地学実験 ■					
			基礎化学実験 ■					
	◎生命科学基礎実験				◎生命科学実験 ■			
			天然物化学 ■	応用天然物化学 ■	生命科学産業論	環境化学 ■		
				生体物性工学	医用工学	応用生体物性工学		
			動物分類学 ■	動物生態学 ■	水界生態学	保全生態学		
					系統進化学	水族育成学 ■		
			植物生理学 ■		植物栽培学(実習含む)			
			基礎微生物学(実習含む)		応用微生物学			
				◎科学論文演習		◎専門英語		
							◎卒業研究	
その他関連科目			博物館概論 ■	博物館学特論 ■	博物館経営論 ■	博物館資料保存論 ■		
			博物館教育論 ■	博物館資料論 ■	博物館展示論 ■	博物館実習 ■		
			博物館情報・メディア論 ■		生涯学習概論 ■			

◎必修科目
■選択科目

■教員免許(理科)教科に関する科目
■博物館学芸員資格に関する科目

健康科学科 Advanced Program (32生) カリキュラム・ツリー

教育目標：保健科学や運動科学の面から人間の健康をとらえることができ、人間を取り巻く環境との関わりの中で21世紀の健康生活に貢献できる人材の養成を目標とする。



- ◎必修科目
- 教員免許(保健)教科に関する科目
 - 教員免許(保健体育)教科に関する科目
 - アスレティックトレーナーに関する科目
 - ◆健康運動指導士に関する科目
 - △スポーツプログラマー1種に関する科目
 - ★救急救命士に関する科目

教育目標： 急速に変化しつつある現代社会に新たな視野をもって対応し、動物と人間の関わりの領域を中心、より良い社会環境、生活環境の構築のために働くことのできる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
生命の尊厳や人権尊重をふまえた高い倫理観を身につけ、動物や飼い主に寄り添うことができる能力	生命倫理・動物福祉		人と動物の関係学				◎必修科目 選択科目	
動物の健康と生育環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力	生物統計学		動物形態機能学 I ■ 動物形態機能学 II ■		動物薬理学 I 動物薬理学 II			
	動物形態機能学 III ■ 動物繁殖学 ■		動物形態機能学実習 動物病理学		動物臨床検査学 動物臨床検査学実習			
	動物感染症学 I ■ 動物感染症学 II ■		動物栄養学		愛玩動物学 比較動物学		動物生活環境学	
					動物行動学 実験動物学 ■		公衆衛生学	
動物看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力					動物医療コミュニケーション			
動物看護実践の場において、適切なアセスメントに基づいて看護を創造し実践することができる能力	動物看護技術学 動物看護技術学実習		適正飼養指導論 動物看護学概論		動物内科看護学 動物内科看護学実習 動物臨床看護学実習			
					動物外科看護学 動物外科看護学実習			
					動物臨床看護学各論 I 動物臨床看護学各論 II 動物臨床看護学各論 III			
協働するチーム内でリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力							動物看護総合実習 実験動物学演習	
社会の変化に適切に対応できる動物看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につけ研鑽しつづける能力	動物看護関連法規 動物愛護・適正飼養関連法規		特別講義				ペット関連産業概論 卒業研究	
その他関連科目	基礎化学 I ■ ■ 基礎物理学 I ■ ■		基礎生物学実験 ■ ■ 基礎分子生物学 ■ ■		環境化学 ■ ■			
	基礎生物学 I ■ ■ 基礎生物学 II ■ ■		有機化学 ■ ■ 基礎化学実験 ■ ■					
	基礎地学 I ■ ■ 基礎地学 II ■ ■		天然物化学 ■ ■ 基礎地学実験 ■ ■					
	基礎物理学実験 ■ ■		A & S PBL I					
					A & S PBL II			

教育目標： 医療における臨床検査のスペシャリストである臨床検査技師や癌診断のスペシャリストである細胞検査士、さらには疾患治療基盤の確立を志向する医療人の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名								
	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
<p>見て感じてイメージできるアートの能力と、観察し検証・考察できるサイエンス的能力</p> <p>臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力</p> <p>社会人、医療人として社会、医療現場に適応できるコミュニケーション能力</p> <p>目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力</p> <p>人に優しく丁寧に話せる能力</p>	◎医学概論				◎生命社会科学概論			<p>◎必修科目 選択科目</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅱ</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅰ</p> <p>臨床検査学演習Ⅰ 臨床検査学演習Ⅱ</p> <p>卒業研修</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅵ</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅴ</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅳ</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅲ</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅱ</p> <p>◎臨床検査学特論Ⅰ</p>	
		◎基礎生理検査学	◎循環機能検査学	◎呼吸・神経機能検査学	◎超音波・画像検査学	臨床生理学実習			
	◎基礎解剖学	◎解剖学	◎解剖学実習 ◎組織学	◎病理学Ⅰ	◎病理学Ⅱ	病理学実習			
	◎生化学Ⅰ	◎生化学Ⅱ	◎臨床化学Ⅰ	◎生化学実習 ◎臨床化学Ⅱ 試薬と機器	◎臨床化学実習				
			◎臨床検査総論実習	◎一般検査学					
		◎検査機器論	◎医動物学						
		◎微生物学	◎臨床微生物学Ⅰ	◎臨床微生物学Ⅱ	◎微生物学実習				
			◎臨床血液学Ⅰ	◎臨床血液学Ⅱ	◎臨床血液学実習				
			◎臨床免疫学	◎輸血・移植検査学	◎臨床免疫学実習	輸血・移植検査学実習			
				◎医学総論(栄養学・薬理学)	◎認知症検査	臨床病理学			
	◎生理学	◎生理学実習		◎医用工学概論 ◎医用工学実習					
		◎臨床検査室概論		◎臨床検体管理学	検査管理総論(関係法規含む)				
					医療安全管理学 医療安全管理学実習				
					遺伝子検査学 遺伝子検査学実習				
					臨床検査総合実習 臨床地実習				
		◎細胞学総論Ⅰ	細胞学総論Ⅱ	臨床細胞学演習Ⅰ	臨床細胞学演習Ⅱ				
その他 関連科目	基礎化学Ⅰ	基礎化学Ⅱ	基礎生物学実験	基礎化学実験					
	基礎生物学Ⅰ	基礎生物学Ⅱ							
	無機化学Ⅰ	無機化学Ⅱ							
		分析化学	基礎分子生物学						
		有機化学							
				A&S PBLⅠ	A&S PBLⅡ				